

令和 2 年度

# 定期監査結果報告書

総 務 部

下 水 道 部

松山市監査委員



様

松山市監査委員 原 田 光 雄

同 飯 尾 隆 哉

同 梶 原 時 義

同 向 田 将 央

### 定期監査結果報告の提出について

地方自治法第 199 条第 1 項、第 2 項及び第 4 項の規定による監査を実施したので、同条第 9 項の規定により、監査の結果に関する報告を次のとおり提出します。



# 目 次

定 期 監 査 結 果 報 告 .....	1
総 務 部 人 事 課 _____	2
〃 職 員 厚 生 課 _____	2
〃 文 書 法 制 課 _____	3
〃 契 約 課 _____	3
〃 技 術 管 理 課 _____	4
下 水 道 部 下 水 道 政 策 課 _____	4
〃 下 水 道 サ ー ビ ス 課 _____	5
〃 下 水 道 整 備 課 _____	6
〃 下 水 道 施 設 課 _____	7
〃 河 川 水 路 課 _____	7

# 定期監査結果報告

## 1 監査の対象及び期間

令和元年度歳入歳出予算の執行及び関連ある事項を次の課等について、下記のとおり対象期間及び監査期間をもって実施した。

監 査 対 象	対 象 期 間	監 査 期 間
人 事 課	平成 31 年 4 月 1 日から 令和 2 年 2 月 29 日まで	令和 2 年 4 月 9 日から 令和 2 年 6 月 8 日まで
職 員 厚 生 課	〃	〃
文 書 法 制 課	〃	〃
契 約 課	〃	〃
技 術 管 理 課	〃	〃
下 水 道 政 策 課	〃	〃
下 水 道 サ ー ビ ス 課	〃	〃
下 水 道 整 備 課	〃	〃
下 水 道 施 設 課	〃	〃
河 川 水 路 課	〃	〃

## 2 監査の方法

財務及び事務事業の執行が、予算、議決、法令等に基づき、適正かつ効率的に行われているかどうかを主眼として実施した。特に、地方自治法第 2 条第 14 項（最少の経費で最大の効果を挙げているか）及び第 15 項（組織及び運営の合理化に努めているか）の規定の趣旨に則って行われているかどうかを意を用いた。

監査に当たっては、上記の各課等から関係資料の提出を求め、関係職員から説明を聴取するとともに、前回の定期監査での指摘事項等が適正に処理されているかについて留意し、必要に応じて現地調査を実施した。

また、関連ある事項については対象期間外にわたるものも監査した。

## 3 監査の結果

次のとおりである。

なお、文中で特に説明のない数値は令和 2 年 2 月 29 日現在のものである。

# 人 事 課

## 1 扶養手当・住居手当及び通勤手当の支給事務について

扶養手当 276,316 千円、住居手当 153,614 千円及び通勤手当 137,449 千円の支給事務について、関係書類等を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

## 2 人事政策事務事業の支出事務について

人事政策事務事業は、人事政策の推進と適正な人事管理を行うための事業である。

### (1) 歳出予算の執行状況

人事政策事務事業の執行額は、4,006 千円となっている。これらのうち普通旅費 9 件 517 千円、消耗品費 70 件 2,032 千円、使用料及び賃借料 2 件 948 千円、負担金 2 件 12 千円について支出負担行為等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

## 3 郵券の管理状況について

郵券の管理状況について受払簿と在庫数等を調査したところ、適正に管理されていた。

# 職 員 厚 生 課

## 1 収入事務について

### (1) 職員厚生費雑入

職員厚生費雑入は、がん検診等助成金等であり 1,682 千円となっている。これらの収入事務について調定書等関係書類を調査したところ、適正に処理されていた。

## 2 労働安全衛生事業(産業医等報酬)の支出事務について

労働安全衛生事業(産業医等報酬)は、産業医による健康相談、保健指導等や職場環境、就業上の措置についての助言や指導により、職員の健康障害の予防と心身の健康の保持増進を図る事業である。

### (1) 歳出予算の執行状況

労働安全衛生事業(産業医等報酬)の執行額は、6,200 千円となっており、非常勤職員報酬 15 件 6,200 千円の支出事務について支出負担行為兼支出命令書等関係書類を調査したところ、適正に処理されていた。

## 3 労働安全衛生事業の支出事務について

労働安全衛生事業は、職員の健康を保持するための措置及び健康障害の原因調査と再発防止のための対策の樹立等を行い、職員が職務を安全かつ円滑に遂行できるよう支援する事業である。

### (1) 歳出予算の執行状況

労働安全衛生事業の執行額は、4,746 千円となっている。災害補償費 22 件 999 千円、報償費 5 件 345 千円、消耗品費 35 件 412 千円、手数料 25 件 287 千円、保険料 11 件 28 千円、委託料

8件 2,562千円、負担金1件 36千円の支出事務について支出負担行為等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

#### 4 郵券の管理状況について

郵券の管理状況について受払簿と在庫数等を調査したところ、適正に管理されていた。

## 文書法制課

### 1 収入事務について

#### (1) 文書手数料

文書手数料は、情報公開条例等に係る行政情報の写しの交付手数料であり639千円となっている。これらの収入事務について調定書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

### 2 基幹統計調査事業の支出事務について

基幹統計調査事業は、国勢統計を始めとする基幹統計の作成を目的とした調査等を実施する事業である。調査結果は、国や地方公共団体の各種行政施策の策定などの基礎資料として利用される。

#### (1) 歳出予算の執行状況

基幹統計調査事業の執行額は、15,782千円となっている。これらのうち非常勤職員報酬13件 12,901千円、報償費2件 1,267千円、普通旅費3件 347千円、消耗品費28件 296千円、使用料及び賃借料4件 23千円の支出事務について支出負担行為等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

### 3 備品の管理状況について

備品の管理状況について抽出調査したところ、適正に管理されていた。

### 4 郵券等の管理状況について

郵券等の管理状況について受払簿と在庫数等を調査したところ、適正に管理されていた。

## 契約課

### 1 物品調達事務の支出事務について

物品調達事務は、物品契約の管理を通じた物品の購入及び修繕の適正な実施を目的とした事業である。

#### (1) 歳出予算の執行状況

物品調達事務の執行額は、705千円となっている。これらのうち賃金2件 220千円、普通旅費1件 11千円、消耗品費22件 280千円、印刷製本費2件 36千円、手数料1件 10千円、使用料及び賃借料1件 22千円、備品購入費1件 108千円の支出事務について支出負担行為等関係書類

を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

## 2 電子入札制度の実施事業の支出事務について

電子入札制度の実施事業は、公共工事等の発注（設計金額 130 万円を超える工事及び工事に係る委託）において、電子入札システムを利用することにより、官・民双方の入札事務の効率化を図り、公平性・透明性及び競争性の高い入札・契約事務を実施する事業である。

### （1）歳出予算の執行状況

電子入札制度の実施事業の執行額は、12,370 千円となっている。これらのうち消耗品費 10 件 160 千円、委託料 3 件 6,912 千円、使用料及び賃借料 1 件 3,933 千円、備品購入費 1 件 61 千円の支出事務について支出負担行為書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

## 技術管理課

### 1 工事検査事務事業の支出事務について

工事検査事務事業は、公共工事の品質確保の促進に関する法律の改正に伴い、発注者責務の明確化等により発注関係事務の運用業務策定等を行う。また、インフラ整備に係る事業費縮減の必要性が高まっていること等に伴い、従来からの検査体制や設計審査体制の充実・強化を図ると共に、事業の計画策定段階からの設計 V E 審査等の技術管理に係る総合調整を行う事業である。

### （1）歳出予算の執行状況

工事検査事務事業の執行額は、16,475 千円となっている。これらのうち報償費 1 件 108 千円、普通旅費 5 件 162 千円、消耗品費 55 件 952 千円、委託料 4 件 3,415 千円、使用料及び賃借料 3 件 7,701 千円、備品購入費 2 件 111 千円、負担金 2 件 63 千円の支出事務について支出負担行為書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

### 2 備品の管理状況について

備品の管理状況について抽出調査したところ、適正に管理されていた。

## 下水道政策課

### 1 歳出予算の執行状況について

歳出予算の執行額は、収益的支出 1,680,020 千円、資本的支出 6,309,354 千円となっている。これらのうち報酬 1 件 75 千円、報償費 1 件 1 千円、旅費 16 件 924 千円、備用品費 63 件 546 千円、食糧費 1 件 1 千円、印刷製本費 1 件 45 千円、委託料 4 件 27,918 千円、使用料 1 件 5 千円、賃借料 4 件 3,941 千円、負担金 5 件 184 千円の支出事務について支出負担行為書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

### 2 備品の管理状況について

備品の管理状況について抽出調査したところ、適正に管理されていた。

# 下水道サービス課

## 1 収入事務について

### (1) 下水道使用料

下水道使用料は、現年度分 5,281,632 千円、過年度分 616,427 千円、合計 5,898,059 千円となっている。これらの収入事務について振替伝票等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

### (2) 手数料

手数料は、督促手数料、指定工事店指定手数料及び責任技術者登録手数料であり 3,801 千円となっている。これらの収入事務について収入伝票等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

### (3) 受益者負担金

受益者負担金は、公共下水道供用開始時に排水区域内に存する土地の所有者（受益者）に下水道事業に要する費用の一部の負担を求める制度であり 96,667 千円となっている。これらの収入事務について収入伝票等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

### (4) 区域外接続協力金

区域外接続協力金は、下水道計画区域外で区域内に隣接する土地の所有者が下水道に接続を希望する場合、受益者負担金に準じて相当額を賦課・徴収するものであり 927 千円となっている。これらの収入事務について収入伝票等関係書類を調査したところ、適正に処理されていた。

### (5) 水洗便所改造資金貸付償還金

水洗便所改造資金貸付償還金は、公共下水道が整備された区域における水洗化改造工事費の貸付後の償還金であり 7,164 千円となっている。これらの収入事務について収入伝票等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

### (6) 小規模下水道使用料

小規模下水道使用料は、大浦地区農業集落排水処理施設にて下水処理を行っている対象者の使用料であり 2,376 千円となっている。これらの収入事務について調定書等関係書類を抽出調査したところ、次の点が見受けられた。

#### [指摘事項]

##### ・適正な債権管理について

小規模下水道使用料に係る金銭債権の消滅時効については、地方自治法第 236 条第 1 項の適用を受け 5 年間とされているが、時効中断となる事由がないまま 5 年間を経過している債権が見受けられた。5 年間を経過した債権については、同条第 2 項により時効の援用を要せず消滅時効が完成することから、速やかに不納欠損処理を行うなど適正な債権管理に努められたい。

## 2 既設管維持管理事業の支出事務について

既設管維持管理事業は、市民からの通報及び下水道施設の点検・調査等により判明した危険箇所・破損箇所の修繕を行うなど、市民生活に支障がないよう適切な維持管理を行うことを目的とする事業である。

### (1) 歳出予算の執行状況

既設管維持管理事業の執行額は、収益的支出 43,844 千円、資本的支出 21,185 千円となっている。これらのうち旅費 5 件 161 千円、備用品費 53 件 456 千円、燃料費 25 件 640 千円、修繕費 27 件 8,941 千円、手数料 4 件 16 千円、保険料 5 件 1,012 千円、委託料 5 件 3,533 千円、賃借料 1 件 246 千円、材料費 23 件 12,572 千円、負担金 3 件 223 千円、公課費 3 件 43 千円、工事請負費 5 件 2,956 千円、車両運搬具購入費 1 件 15,070 千円の支出事務について支出負担行為書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

### 3 船舶利用券等の管理状況について

船舶利用券等の管理状況について受払簿と在庫数等を調査したところ、適正に管理されていた。

## 下水道整備課

### 1 中央処理区管渠整備事業の支出事務について

中央処理区管渠整備事業は、平成 29 年度から第 4 次松山市下水道整備基本構想に基づき実施しており、令和元年度は石井・久米・桑原地区の面整備約 15ha の管渠整備を行う事業である。

#### (1) 歳出予算の執行状況

中央処理区管渠整備事業の執行額は、資本的支出 962,925 千円となっている。これらのうち備用品費 44 件 585 千円、通信運搬費 3 件 4 千円、使用料 1 件 160 千円、燃料費 6 件 109 千円、修繕費 5 件 111 千円、手数料 5 件 352 千円、保険料 2 件 63 千円、公課費 2 件 15 千円、委託料 5 件 87,074 千円、工事請負費 5 件 221,831 千円、用地買収及び補償費 14 件 20,817 千円の支出事務について支出負担行為書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

### 2 上野処理区管渠整備事業の支出事務について

上野処理区管渠整備事業は、松山市と砥部町の行政区域にまたがる上野団地のうち、集中浄化槽で汚水を処理していた松山市側について、平成 30 年度から新たに松山市公共下水道として位置付け、砥部町公共下水道に接続して汚水処理を砥部町に委託するための管渠整備を行う事業である。

#### (1) 歳出予算の執行状況

上野処理区管渠整備事業の執行額は、資本的支出 29,836 千円となっている。備用品費 9 件 82 千円、通信運搬費 1 件 2 千円、委託料 2 件 1,126 千円、工事請負費 2 件 28,626 千円の支出事務について支出負担行為書等関係書類を調査したところ、適正に処理されていた。

### 3 郵券の管理状況について

郵券の管理状況について受払簿と在庫数等を調査したところ、適正に管理されていた。

# 下水道施設課

## 1 収入事務について

### (1) 売電事業収益

売電事業収益は、消化ガス発電の売電収入であり 117,502 千円となっている。これらの収入事務について振替伝票等関係書類を調査したところ、適正に処理されていた。

## 2 西部浄化センター建設事業の支出事務について

西部浄化センター建設事業は、設備の老朽化に起因する故障等による未処理水の流出及び処理場機能の停止・低下等の事故を防止するため、長寿命化計画等に基づき計画的に設備の更新工事を実施する事業である。

### (1) 歳出予算の執行状況

西部浄化センター建設事業の執行額は、資本的支出 636,479 千円となっている。これらのうち委託料 2 件 45,925 千円、工事請負費 2 件 335,208 千円の支出事務について支出負担行為書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

## 3 中央浄化センター運転管理事業の支出事務について

中央浄化センター運転管理事業は、中央浄化センター、合流ポンプ場及び保免汚水中継ポンプ場の水処理・汚泥処理施設の適正で効率的な運転を行うとともに、施設や設備の維持管理・保守点検業務、産業廃棄物収集運搬処分業務等を実施する事業である。

### (1) 歳出予算の執行状況

中央浄化センター運転管理事業の執行額は、収益的支出 643,519 千円、資本的支出 32,228 千円となっている。これらのうち備用品費 11 件 1,831 千円、動力費 20 件 146,660 千円、修繕費 2 件 24,230 千円、委託料 3 件 377,146 千円、工事請負費 2 件 10,514 千円、備品等購入費 2 件 502 千円の支出事務について支出負担行為書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

## 4 備品の管理状況について

備品の管理状況について抽出調査したところ、適正に管理されていた。

## 5 給油伝票の管理状況について

給油伝票の管理状況について在庫数等を調査したところ、適正に管理されていた。

## 6 情報管理の状況について

情報管理の状況について情報資産の保管等を確認したところ、適正に管理されていた。

# 河川水路課

## 1 収入事務について

### **(1) 砂防費分担金**

砂防費分担金は、松山市崖崩れ防災対策事業にかかる分担金であり 13,596 千円となっている。これらの収入事務について調定書等関係書類を調査したところ、適正に処理されていた。

## **2 雨水管渠等整備事業の支出事務について**

雨水管渠等整備事業は、雨水管渠の整備により、浸水被害の軽減を図り、市民の安全安心を確保する事業である。

### **(1) 歳出予算の執行状況**

雨水管渠等整備事業の執行額は、資本的支出 883,778 千円となっている。これらのうち旅費 1 件 10 千円、備用品費 35 件 655 千円、燃料費 21 件 166 千円、修繕費 3 件 81 千円、手数料 1 件 1 千円、保険料 2 件 31 千円、委託料 7 件 74,840 千円、工事請負費 10 件 224,649 千円、用地買収及び補償費 4 件 1,522 千円、公課費 1 件 8 千円の支出事務について支出負担行為等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。